

株式会社島津製作所
(東証プライム市場：証券コード7701)

2026年3月期
第3四半期決算説明会

常務執行役員 前田愛明

2026年2月5日

ハイライト

第3四半期 増収増益

売上高・営業利益とも前年を上回って増加

- ・【売上高】 **1,424億円 (前年同期比+ 7%)** : 6期連続で3Q過去最高を更新
- ・【営業利益】 **187億円 (前年同期比+11%)** : 2期ぶりに3Q過去最高を更新

セグメント別

- ・計測：増収減益 / 売上高は3Q過去最高を更新 費用増により減益
- ・医用：増収増益 / 売上高は3Q過去最高を更新 利益22倍
- ・産業：増収増益 / 売上高・営業利益とも3Q過去最高を更新
- ・航空：増収増益 / 売上高・営業利益とも3Q過去最高を更新

通期目標

為替円安を反映し売上高を上方修正するものの、営業利益はM&A費用の増加
および研究開発費の増加等を見込んで据え置く

【売上高】 **5,550億円 (前期比 +3.0%) (11月公表値+100億円)**

【営業利益】 **720億円 (前期比 +0.4%) (11月公表値を据え置く)**

01

決算概要

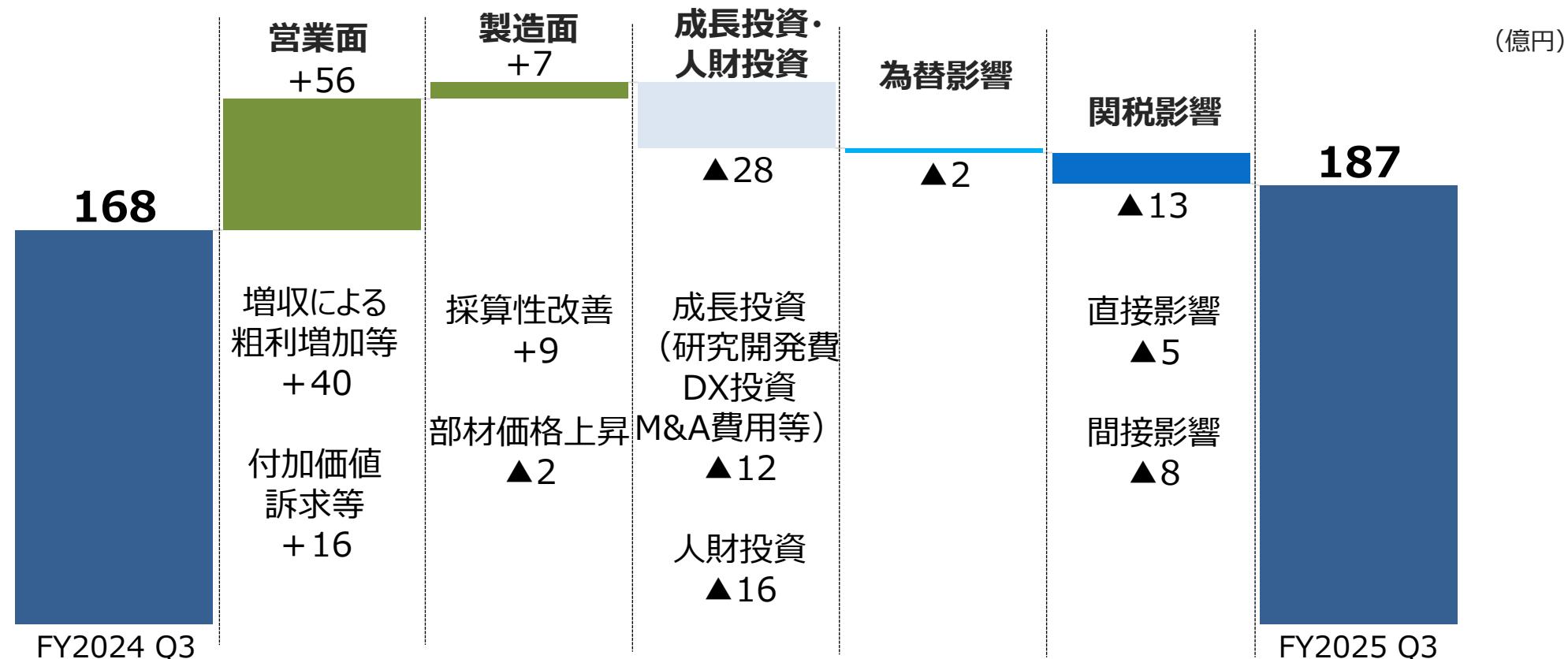
連結 / 業績

	単位：億円	第3四半期(10月-12月)		前年同期比		為替影響額
		FY2024	FY2025	増減額	増減率	
業績	売上高	1,330	1,424	+93	+7%	売上高 : +18億円
	営業利益	168	187	+18	+11%	営業利益 : ▲ 2億円
	営業利益率	12.6%	13.1%	+0.5pt		
	経常利益	208	216	+9	+4%	
	親会社株主に帰属する当期純利益	148	155	+6	+4%	→ 為替差損益 : ▲ 8億円
為替	平均為替レート：米ドル(円)	152.47	154.17	+1.70	+1%	売上高、営業利益は平均為替レートで、
	ユーロ(円)	162.63	179.43	+16.80	+10%	為替差損益は期末レートで計上
	研究開発費	71	70	▲2		
	設備投資額	61	50	▲11		
	減価償却費	48	53	+5		

* 記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

連結 / 営業利益増減要因

■ 営業面	: 増収による効果と付加価値訴求で増加	+56億円
■ 製造面	: 製造での採算性が改善し、部材価格の上昇を補って増加	+ 7億円
■ 成長投資・人財投資	: DX投資・M&A費用が増加、人財投資は16億円増加	▲28億円
■ 関税影響	: 関税増▲5億円、市況悪化に伴う減益▲8億円	▲13億円



*記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

セグメント別損益

- 計測 : 增收減益 / 売上高は9期連続で過去最高を更新 営業利益は費用増により減少
- 医用 : 增收増益 / 売上高は過去最高を更新 営業利益も増加
- 産業 : 增收増益 / 売上高・営業利益ともに5期連続で過去最高を更新
- 航空 : 增收増益 / 売上高は3期連続、営業利益は4期連続で過去最高を更新

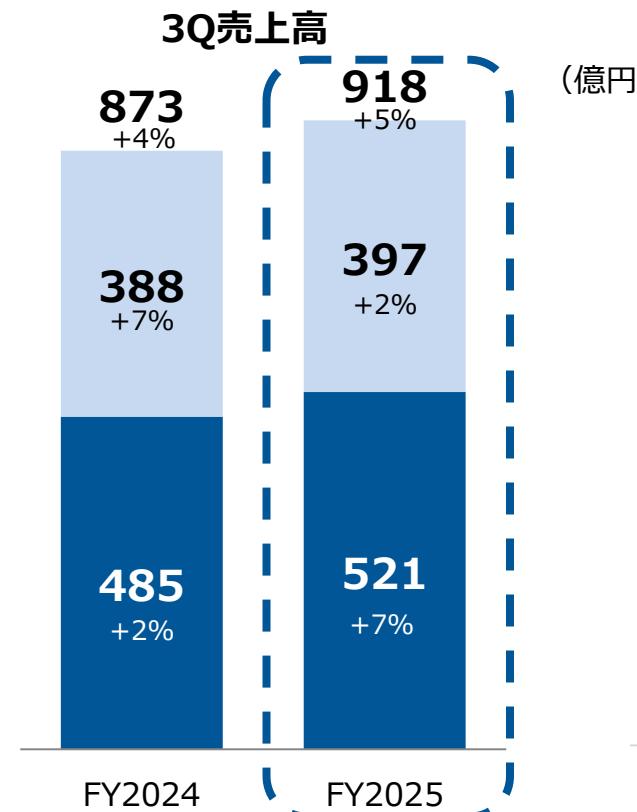
単位 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2024 3Q	FY2025 3Q	前年同期比		FY2024 3Q	FY2025 3Q	前年同期比		FY2024 3Q	FY2025 3Q	前年同期比
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	873	918	+45	+5%	125	122	▲3	▲3%	14.3%	13.3%	▲1.1pt
医用機器	162	184	+22	+14%	1	12	+11	+22倍	0.3%	6.5%	+6.1pt
産業機器	174	189	+15	+9%	26	35	+9	+35%	14.9%	18.5%	+3.7pt
航空機器	100	120	+21	+21%	17	24	+7	+43%	16.8%	20.0%	+3.2pt
その他	21	13	▲9	▲40%	3	3	+0	+11%	10.6%	17.1%	+6.5pt
調整額	-	-	-	-	▲3	▲9	▲6	-	-	-	-
合計	1,330	1,424	+93	+7%	168	187	+18	+11%	12.6%	13.1%	+0.5pt

計測機器 / 売上高・営業利益

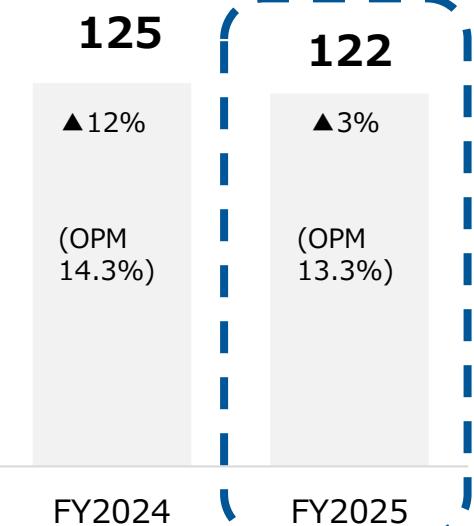
【増収減益】売上高は9期連続で3Q過去最高を更新 費用増により減益

- 売上高：重点機種、その他機種ともに過去最高を更新
- 営業利益：M&A費用などの増加により減益。ただしM&A費用除けば増益

■ 重点機種 ■ その他 % : 前年同期比 ■ 営業利益 % : 前年同期比



3Q営業利益



重点機種

- 前年同期比 +7%と好調に推移
- 臨床や官公庁・大学市場向けにMSが好調
- 日本、北米、欧州がけん引

その他

- 北米や欧州で産業分野（輸送機関連やその他の製造業など）向けに試験機が好調

リカーリング

- リカーリング売上高比率 41% (対前年同期+1pt)
- リカーリング売上高・比率とも3Q過去最高
- 部品・サービスとも順調に増加

売上高 521億円

売上高 397億円

売上高 374億円 (前年同期比+7%)

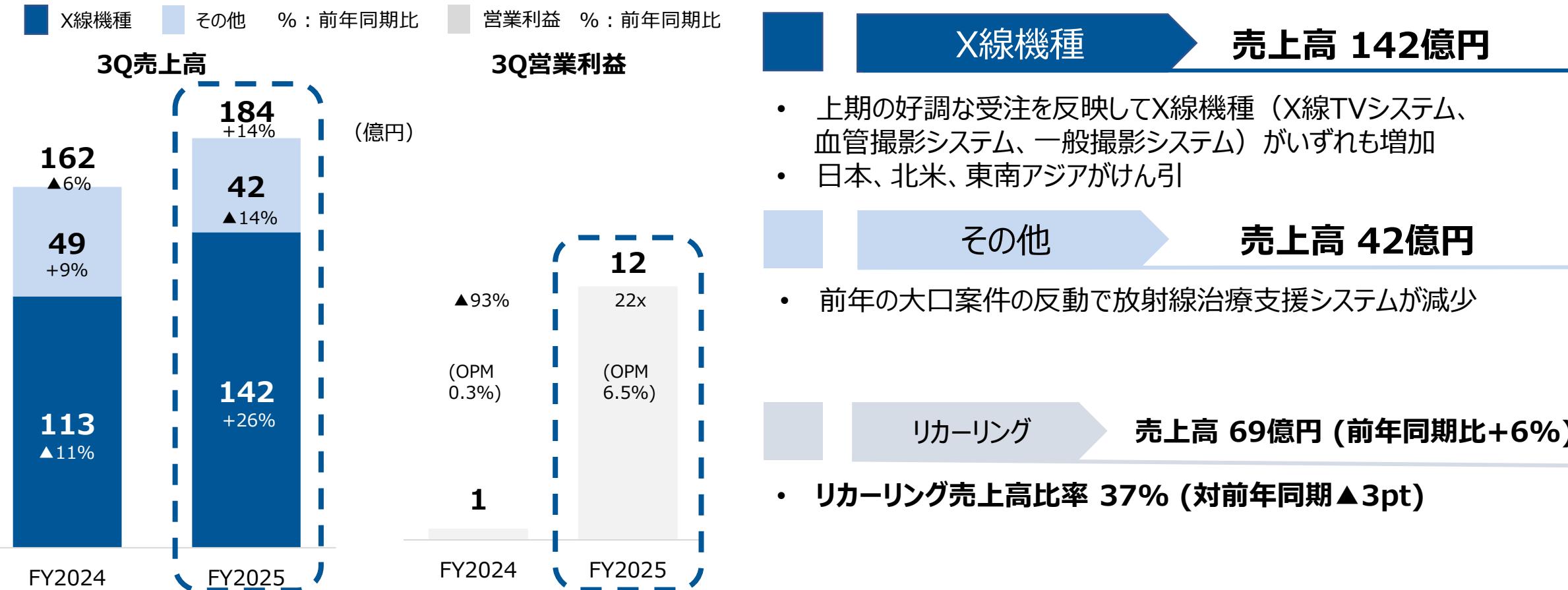
計測機器 / 地域別売上高

単位 億円	FY2024 3Q	FY2025 3Q	前年同期比		3Q (10-12月) 概況
			増減額	増減率	
日本	307	315	+8	+3%	・ 再生エネルギー・リサイクル・半導体材料などの化学市場や、食品市場向けにLC・MS・GCが増加
海外	566	603	+37	+6%	・ 海外売上高比率は65.7% (+0.9%pt)
北米	94	104	+10	+10%	・ 臨床検査向けに北米R&Dセンターで開発したMSが増加 ・ 輸送機関連向けに試験機が増加
欧州	114	133	+20	+17%	・ 官公庁・大学市場向けに水質検査用途でMSが大きく増加 ・ エネルギー・リサイクルなどの化学市場や、輸送機市場向けにLCやGCが増加
中国	179	181	+2	+1%	・ 医薬市場での薬典改訂による需要を取り込み増加 ・ 官公庁・大学市場向けはやや停滞
その他のアジア (インド除く)	81	84	+3	+4%	・ 東南アジアで医薬や官公庁・大学向けにMSが増加 ・ 韓国で医薬市場向けにLCが増加
インド	52	49	▲3	▲5%	・ 代理店向け出荷前倒し（3Q→1H）の反動で、LC・MSが減少 ・ 医薬、食品市場の需要は引き続き底堅く推移

医用機器 / 売上高・営業利益

【增收増益】売上高は2期ぶりに3Q過去最高を更新、営業利益は22倍に

- 売上高：X線機種は増加、その他機種は前年の大口案件の反動により減少
- 営業利益：新製品効果による增收やプロダクトミックス良化などにより増益



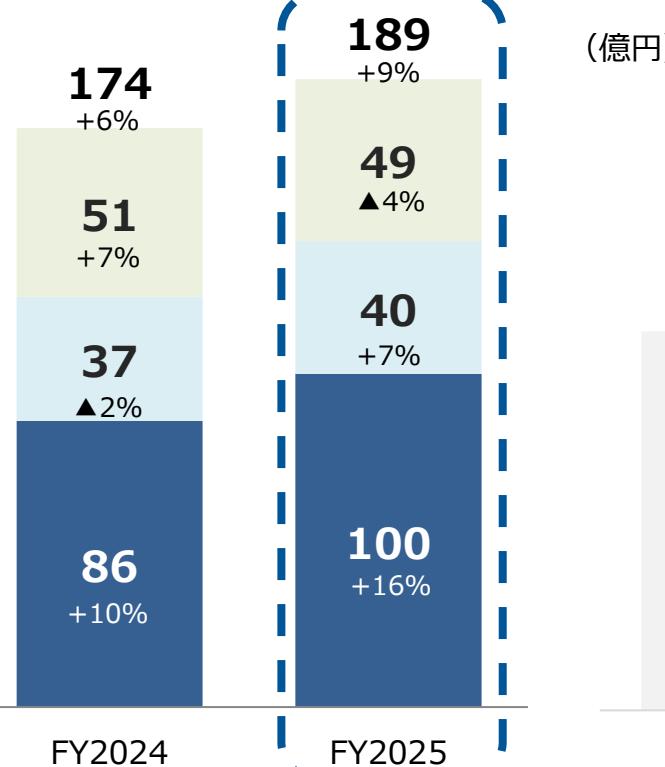
産業機器 / 売上高・営業利益

[增收増益] 売上高・営業利益とも3Q過去最高を更新、TMPリカーリング売上高は前年同期比+31%と大きく伸長

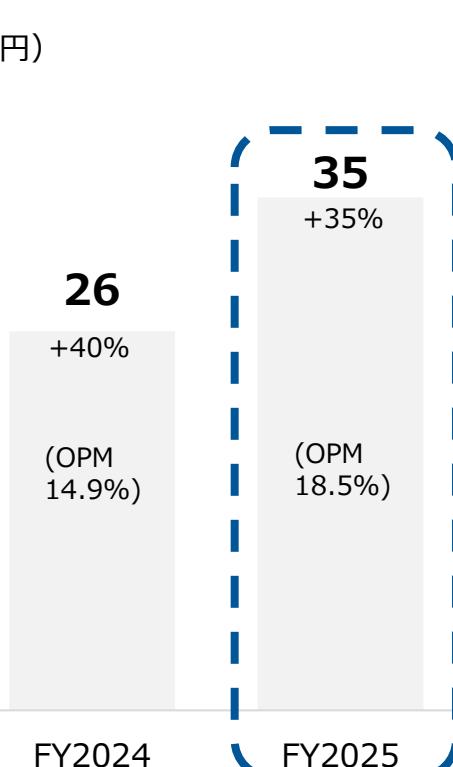
- 売上高：半導体製造装置（以下SPE）向けTMPが回復、油圧機器が増加
- 営業利益：增收やTMPのリカーリング事業拡大による粗利率改善により増益

TMP 油圧 その他 % : 前年同期比 営業利益 % : 前年同期比

3Q売上高



3Q営業利益



TMP

売上高 100億円

- SPE向けが日本で減少するも、北米、中国、韓国で増加

TMPリカーリング

売上高 25億円 (前年同期比+31%)

- TMPリカーリング売上高比率 25% (対前年同期+3pt)**
- 北米、欧州、台湾でサービスが増加

油圧

売上高 40億円

- 産業車両向けは減少したものの、建設機械・特装車向けなどが増加

その他

売上高 49億円

- EV用セラミックス製造向け工業炉が減少

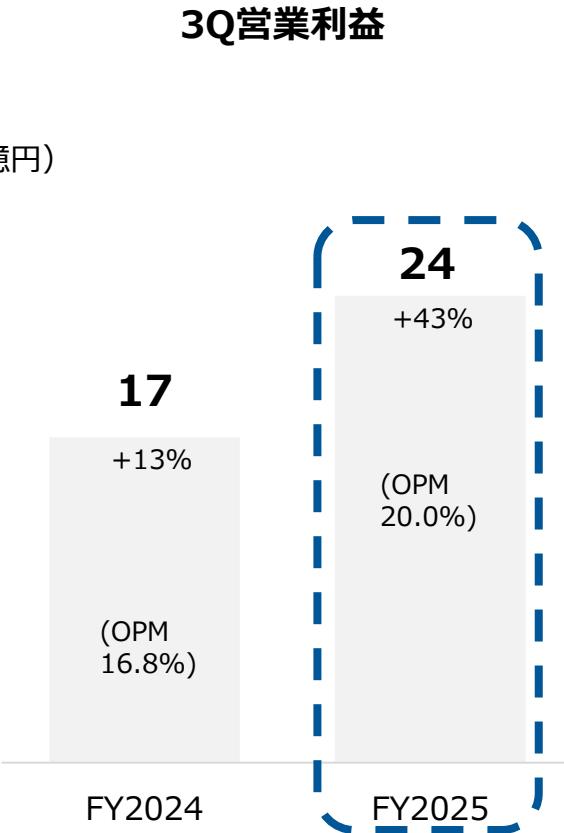
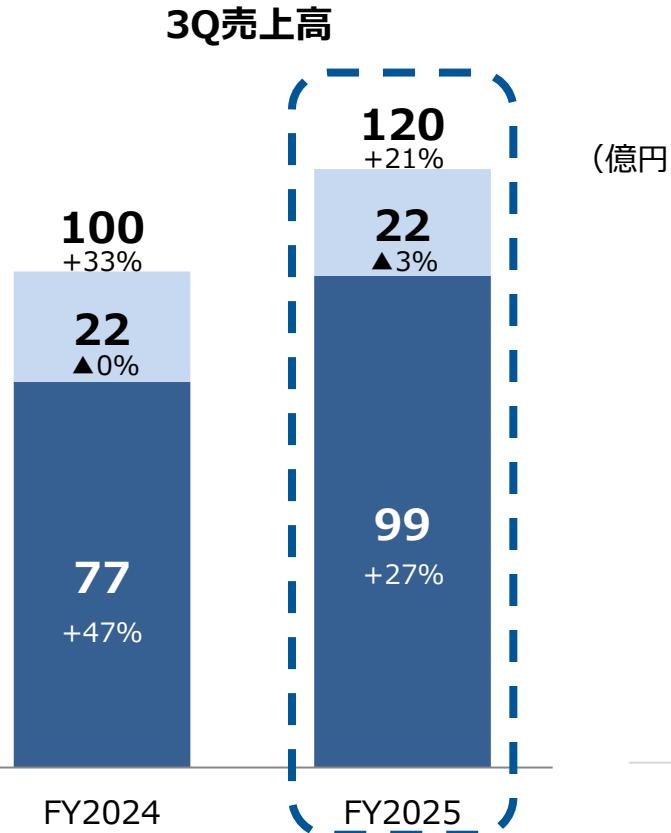
航空機器 / 売上高・営業利益

【增收増益】売上高・営業利益・営業利益率のすべてが2期連続で3Q過去最高を更新

- 売上高：防衛向けは増加、民間航空向けはサプライチェーンの一部での製造課題により減少
- 営業利益：增收やプロダクトミックス良化により増益

■ 防衛 ■ 民航 % : 前年同期比

■ 営業利益 % : 前年同期比



防衛

売上高 99億円

- 政府の防衛力強化方針に伴う需要増と、為替の円安影響により売上高が増加

民航

売上高 22億円

- 民間航空機向け搭載品や航空会社向け補用部品の需要は引き続き拡大
- サプライチェーンの一部で製造課題が継続しており売上高は減少

02

2025年度通期業績予想

2025年度通期業績予想

- 売上高 5,550億円：想定為替レート変更により、100億円上方修正
- 営業利益 720億円：増収により押し上げられるものの、M&A費用など成長投資の増加により据え置く

売上高	5,550	億円	対前期 + 160 億円	対11月公表 + 100 億円
営業利益	720	億円	対前期 + 3 億円	対11月公表 0 億円
経常利益	720	億円	対前期 0 億円	対11月公表 0 億円
当期純利益	540	億円	対前期 + 2 億円	対11月公表 0 億円

通期想定為替レート

米ドル：150円
ユーロ：174円

研究開発費

305 億円
対前期 対11月公表
+16 億円 +5 億円

設備投資

250 億円
対前期 対11月公表
+21 億円 -
200 億円
対前期 対11月公表
+1 億円 -

減価償却

2025年度通期セグメント別業績予想

- 計測：売上高は為替円安により前回予想から上方修正。営業利益は増収で増加するも費用増を見込み下方修正
- 医用：売上高・営業利益とも為替円安を反映して前回予想から上方修正
- 産業：為替円安を反映するとともにTMP市況の回復を織り込み、売上高・営業利益とも前回予想から上方修正
- 航空：現時点の業績進捗に鑑み、好調な需要を背景に売上高・営業利益とも前回予想から上方修正

単位: 億円	売上高				営業利益				営業利益率			
	FY2024	FY2025 新予想	前期差 増減額	前回予想差 増減額	FY2024	FY2025 新予想	前期差 増減額	前回予想差 増減額	FY2024	FY2025 新予想	前期差 増減	前回予想差 増減
計測機器	3,479	3,630	+151	+80	521	535	+14	▲30	15.0%	14.7%	▲0.2pt	▲1.2pt
医用機器	726	735	+9	+15	43	45	+2	+5	5.9%	6.1%	+0.2pt	+0.6pt
産業機器	723	725	+2	+25	105	105	+0	+10	14.5%	14.5%	+0.0pt	+0.9pt
航空機器	387	400	+13	+10	61	70	+9	+20	15.7%	17.5%	+1.8pt	+4.7pt
その他	76	60	▲16	▲30	6	5	▲1	▲9	6.4%	6.3%	▲0.1pt	▲5.9pt
調整額	-	-	-	-	▲18	▲40	▲22	+4	-	-	-	-
合計	5,390	5,550	+160	+100	717	720	+3	+0	13.3%	13.0%	▲0.3pt	▲0.2pt

計測機器 / 地域別通期見込

地域別通期売上高見込み (前期比)

為替影響を除く	FY2025	
	2Q時点	3Q時点
日本	4-6%	4-6%
北米	10-13%	7-9%
欧州	0-3%	4-6%
中国	0-3%	0-3%
その他のアジア	10-13%	7-9%
(内数) インド	10-13%	10-13%
計測全体	4-6%	4-6%

市場環境 (3Q)

- 日本**
 - 医薬・食品市場は横ばい
 - 官公庁・大学市場、再生エネルギー・リサイクル・半導体材料分野への投資が活況な化学市場が好調
- 北米**
 - 大手臨床検査会社と開発・改良した多検体処理LCMSシステムの水平展開が進み好調な臨床市場が全体を牽引
 - 設備投資減少により医薬向けが停滞
- 欧州**
 - 停滞していた医薬・環境・食品安全市場が回復傾向
- 中国**
 - 政府支援策（官庁・大学向けが中心）、薬典改訂需要に対するアプローチにより、9Mで約30MUSD受注
 - バイオ医薬向けも伸長
- インド**
 - 継続して医薬・CRO市場、産業分野が好調

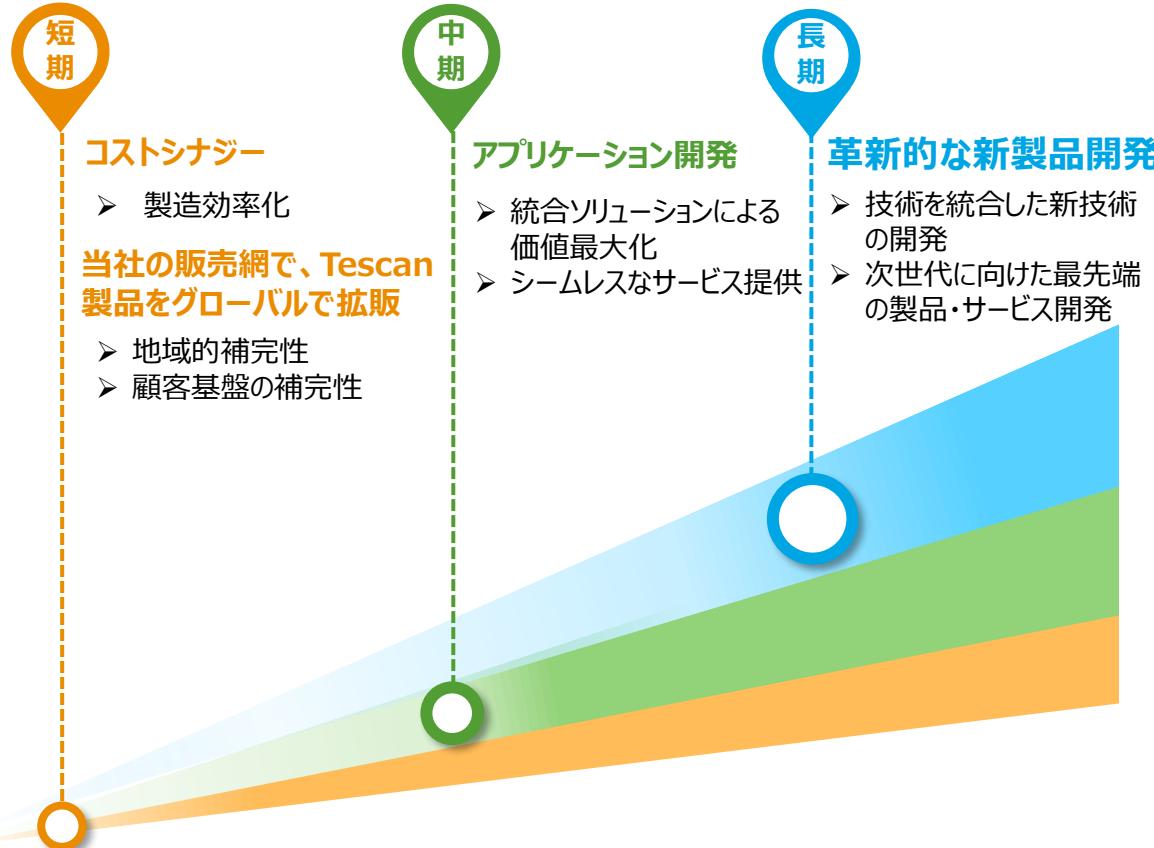
03

トピックス

- ・Tescanの買収について
- ・新製品上市の状況

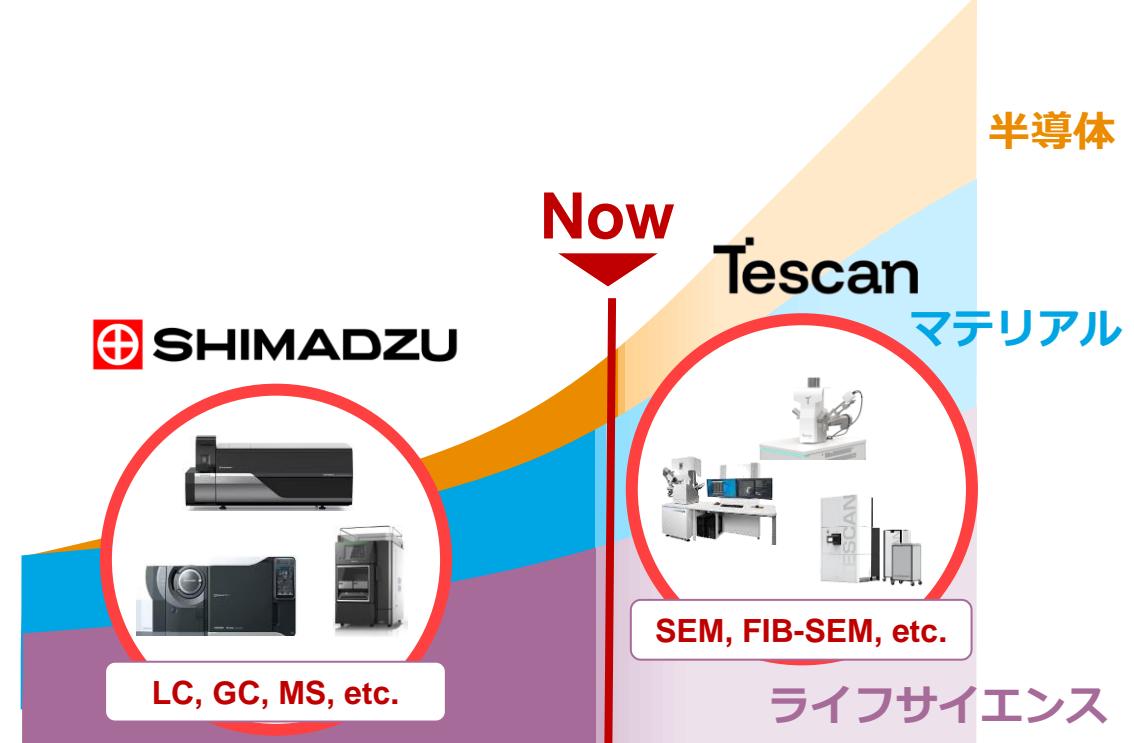
Tescan買収によるシナジー効果と新たな成長機会の獲得

両社の高い補完性を最大限活用し、
短期～長期にわたって様々なシナジーを発現



両社のリソースを相互に活用し
半導体、マテリアル、ライフサイエンスの
3分野における成長機会を獲得

- 半導体 : 本件をきっかけに本格参入し、高い市場成長を取込む
- マテリアル : 両社の顧客基盤を活用し、成長を促進
- ライフサイエンス : 電子顕微鏡市場の需要取込みによる新たな成長余地獲得



半導体・マテリアル・ライフサイエンスの各分野で 競争力の高い分析プラットフォームを構築



「統合解析」の実現

ハード・ソフトを融合し、
データの一元管理・統合解析・アプリ開発

インダストリー領域（半導体分野）

成長するTescanの半導体ビジネスを活用し、市場参入推進

マテリアル領域

欧州を中心にTescanが有する大手企業の顧客基盤を活用

ヘルスケア領域（ライフサイエンス分野）

島津の顧客基盤を活用し、電子顕微鏡市場の需要を取り込む

半導体市場（事業拡大を目指す）

表面観察

Tescanの故障解析ワークフローに当社ソリューションを組み込む

Tescan

マイクロCT FIB-SEM レーザー加工



+

SHIMADZU

EPMA

CT

XPS



水分析

AMC分析

Tescanの納入実績を活かし、半導体向け計測機器市場に参入

超純水モニタリング



オンラインTOC計

環境負荷低減



PFAS分析
液体クロマトグラフ
質量分析システム

揮発性有機化合物(VOC)
モニタリング



ガスクロマトグラフ
質量分析システム

新製品上市の状況（2Q決算発表以降にリリース）



法律や規制に基づく水質検査を効率化・安定化 イオンクロマトグラフ 2026年2月発売予定

- 小型で操作が分かりやすく、部品交換などのメンテナンスも簡単に見えるため、安定して長く使いやすい
- 新AI機能強化により、測定のやり直しが減り作業の無駄（ダウントIME）が減少
- 専用ソフトウェアで異常値の判定や日常業務を支援し、初心者/未経験者でも扱いやすい

ターゲット：水質分析市場（環境水/水道水/飲料水/製造用水/工場排水など）

超純水の品質をリアルタイムでチェック可能 オンラインTOC計「TOC-1000e S」 2025年11月発売



ターゲット：半導体市場

- 世界最小・最軽量クラス
- 超純水中の有機物量1µg/L以下まで安定測定可能
- 半導体の洗浄基準に応え、製造工程の問題発見や歩留まり改善に役立つ

Total Organic Carbon (全有機体炭素)
水中に存在する有機物を構成する炭素の総量。
「水の汚れ」を示す代表的な水質指標のひとつ。

既にリリース済みの主な製品



一体型液体クロマトグラフ
i-Series
LC-2070/2080
2025年9月発売



新型ガスクロマトグラフ
FluxEdge GC Systems
2025年9月発売



高速液体クロマトグラフ質量分析システム
LCMS-8065XE
2025年8月発売



精密万能試験機
オートグラフ
AGS-Vシリーズ
2025年5月発売



走査電子顕微鏡
SUPERSCAN
SS-4000 2025年2月発売
SS-3000 2025年4月発売
SS-2000 2025年6月発売



回診用X線撮影装置
MobileDaRt Evolution
MX9 Version
2025年4月発売

(ご案内) 2026年度-2028年度 中期経営計画

- アナリスト・機関投資家向け新中期経営計画の説明会を開催

開催日時 2026年6月4日（木）15：30 – 17：00

開催方法 オンライン配信（Zoom）

プレゼンター 代表取締役社長 山本 靖則

※詳細が決まり次第、追ってご案内いたします。

進もう島津！熱意とともに
Advancing Together with Passion
— Best for Our Customers —



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、
経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素に
より、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673
E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

連結業績 (4-12月)

	単位：億円	第3四半期累計(4月-12月)		前年同期比	
		FY2024	FY2025	増減額	増減率
業績	売上高	3,843	3,987	+144	+4%
	営業利益	470	502	+32	+7%
	営業利益率	12.2%	12.6%	+0.4pt	
	経常利益	492	530	+38	+8%
	親会社株主に帰属する当期純利益	361	391	+29	+8%
為替	平均為替レート：米ドル（円）	152.61	148.78	▲3.83	▲3%
	ユーロ（円）	164.87	171.88	+7.01	+4%
	研究開発費	206	213	+7	
	設備投資額	172	169	▲3	
	減価償却費	145	152	+7	

為替影響額

売上高：▲36億円

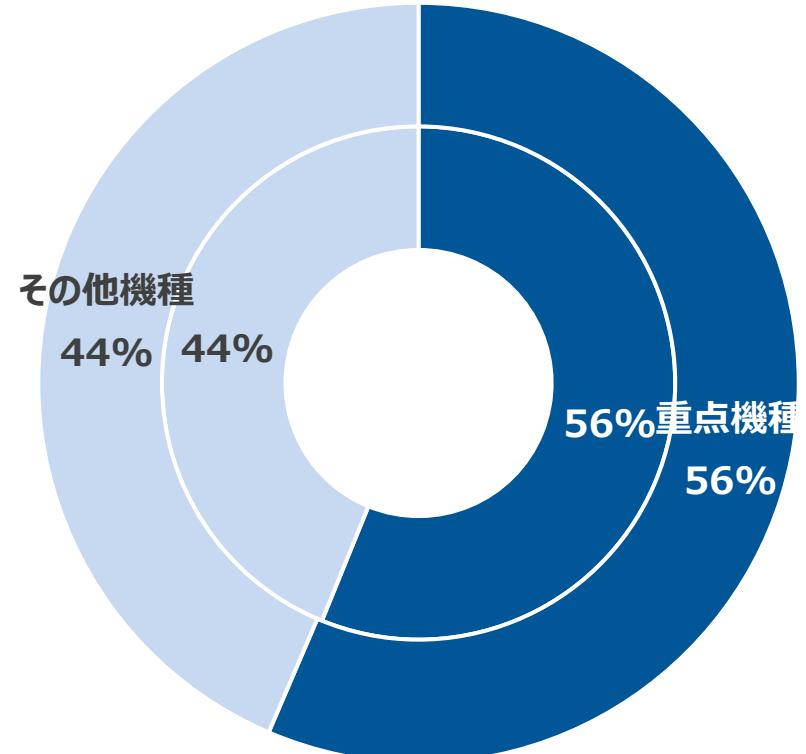
營業利益：▲10億円

セグメント別損益（4-12月）

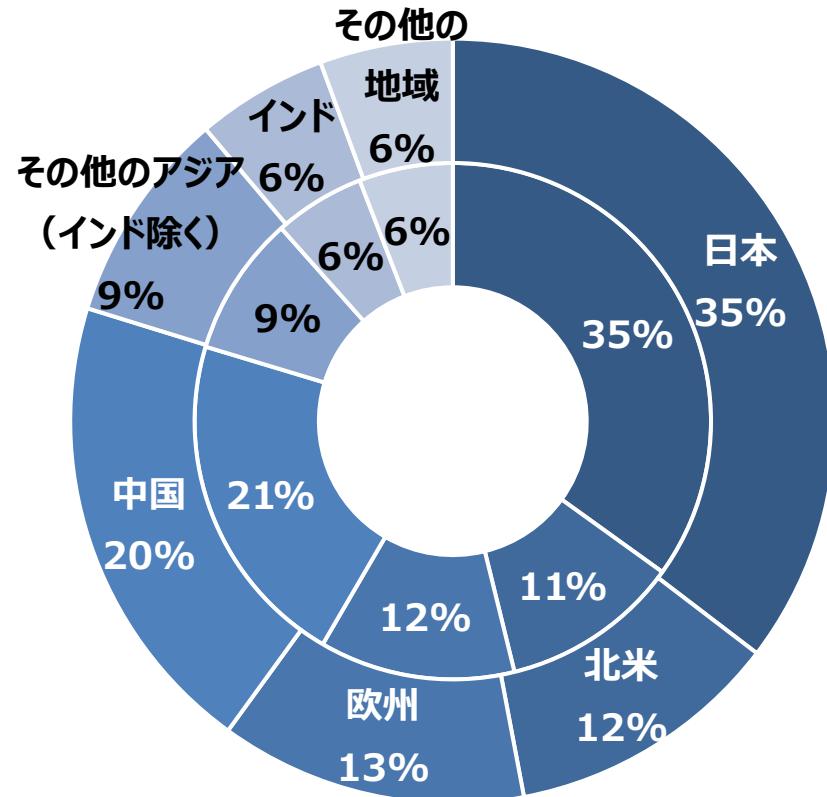
単位 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
			前年同期比				前年同期比				
	FY2024	FY2025	増減額	増減率	FY2024	FY2025	増減額	増減率	FY2024	FY2025	前年同期比 増減
計測機器	2,479	2,599	+120	+5%	338	356	+17	+5%	13.6%	13.7%	+0.0pt
医用機器	503	521	+18	+4%	16	25	+8	+49%	3.3%	4.7%	+1.4pt
産業機器	534	518	▲16	▲3%	79	81	+2	+3%	14.8%	15.7%	+0.9pt
航空機器	280	302	+22	+8%	41	60	+19	+47%	14.5%	19.7%	+5.2pt
その他	47	47	+0	+1%	4	8	+3	+76%	6.8%	12.0%	+5.2pt
調整額	-	-	-	-	▲8	▲27	▲18	-	-	-	-
合計	3,843	3,987	+144	+4%	470	502	+32	+7%	12.2%	12.6%	+0.4pt

計測機器 / 各種売上高構成比率（4-12月）

機種別

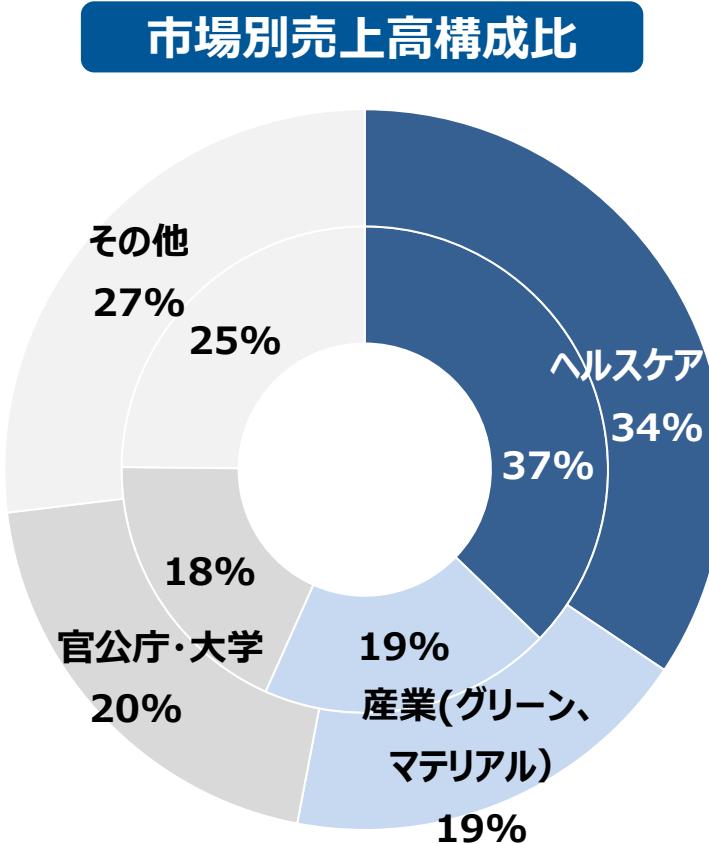


地域別



※円グラフ外側はFY2025実績、内側はFY2024実績を示す

計測機器 / 領域別売上高比率 (10-12月)



市場と主な業界	構成比		売上高 前年 同期比	概況
	FY2024	FY2025		
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	37%	34%	▲3%	<ul style="list-style-type: none"> 日本では食品市場、東南アジアでは医薬市場向けが増加 臨床市場向けは北米で増加するも、中国・欧州で減少
産業関連 (グリーン、マテリアル) ●化学・素材 ●電機 ●自動車	19%	19%	+0%	<ul style="list-style-type: none"> 北米で輸送機関連で試験機が増加 日本・欧州でGX関連でLCやGCが増加
官公庁・大学	18%	20%	+14%	<ul style="list-style-type: none"> 北米は政策影響で引き続き低調 欧州で官公庁・大学市場向けに水質規制用途のMSが増加

※円グラフ：外側 FY2025実績 内側 FY2024実績

計測機器 / 重点機種売上高前年同期比

■ 重点機種

- L C** : 医薬、臨床、GX関連（再生エネルギー・リサイクルなど）市場向けに増加
- M S** : 臨床、環境規制（欧州で水質検査用途の大口案件を獲得）市場向けに増加
- G C** : GX関連（再生エネルギー・リサイクルなど）など産業分野向けに増加

為替影響を含む	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
重点機種	+18%	+13%	+12%	▲2%	+10%	+3%	▲2%	+2%	+8%	+3%	+3%	+5%	+7%
全体	+16%	+10%	+6%	+2%	+7%	+3%	▲1%	+4%	+4%	+3%	+3%	+6%	+5%

為替影響を除く	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
重点機種	+12%	+8%	+7%	▲10%	+4%	▲6%	▲5%	▲0%	+6%	▲1%	+9%	+6%	+5%
全体	+11%	+6%	+2%	▲4%	+3%	▲5%	▲3%	+3%	+3%	▲0%	+7%	+7%	+3%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

計測機器 / 地域別売上高前年同期比

- 日本：再生エネルギー・リサイクル・半導体材料などの化学市場や、食品市場向けに重点機種が増加
- 海外：北米・欧州で重点機種に加え試験機が増加。インドは在庫調整などで一時的に停滞

為替影響を含む	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%	+5%	+2%	+12%	▲2%	+3%	+4%	+11%	+3%
北米	+1%	+4%	▲4%	+7%	+2%	+13%	+13%	+21%	+11%	+14%	+13%	+4%	+10%
欧州	+20%	+27%	+21%	+10%	+19%	+8%	+4%	+3%	+7%	+5%	+2%	+13%	+17%
中国	+31%	▲4%	+6%	▲21%	+1%	▲5%	▲19%	▲10%	▲2%	▲9%	▲8%	▲1%	+1%
その他のアジア	+15%	+20%	+20%	+11%	+17%	+4%	+3%	+1%	+13%	+5%	+13%	+5%	+0%
インド	+27%	+14%	+32%	+8%	+20%	+20%	+25%	+4%	+24%	+17%	+16%	▲1%	▲5%
為替影響を除く	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%	+5%	+2%	+12%	▲2%	+3%	+4%	+11%	+3%
北米	▲4%	▲1%	▲8%	▲4%	▲4%	▲0%	+9%	+17%	+7%	+8%	+22%	+5%	+9%
欧州	+11%	+13%	+10%	▲3%	+8%	▲4%	▲0%	+0%	+7%	+1%	+4%	+9%	+8%
中国	+24%	▲9%	+2%	▲31%	▲5%	▲16%	▲21%	▲12%	▲4%	▲14%	▲1%	+1%	+0%
その他のアジア	+10%	+15%	+15%	▲0%	+10%	▲7%	▲0%	▲1%	+12%	+1%	+21%	+7%	+0%
インド	+20%	+9%	+26%	▲4%	+12%	+6%	+20%	+0%	+21%	+11%	+25%	+0%	▲6%

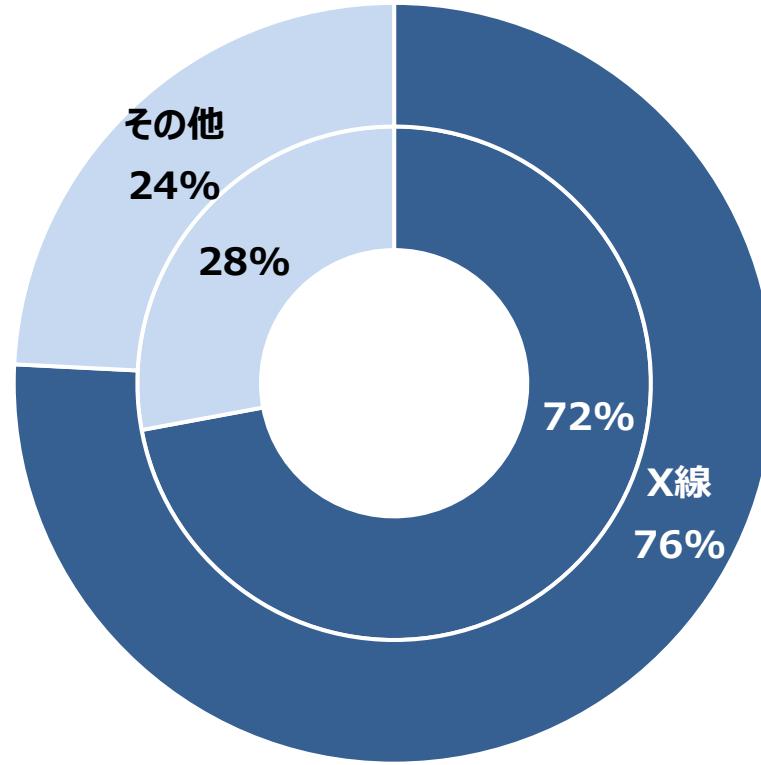
計測機器 / 領域別売上高前年同期比

	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
ヘルスケア	+24%	+7%	▲4%	▲8%	+3%	+1%	▲4%	+5%	+11%	+3%	+2%	+7%	▲3%
産業 (グリーン、マテリアル)	+15%	+8%	+6%	+5%	+8%	+7%	+2%	+2%	+8%	+5%	▲6%	+1%	+0%
アカデミア/官庁	+20%	+25%	+23%	▲2%	+14%	▲2%	▲8%	▲8%	▲7%	▲6%	+9%	▲1%	+14%

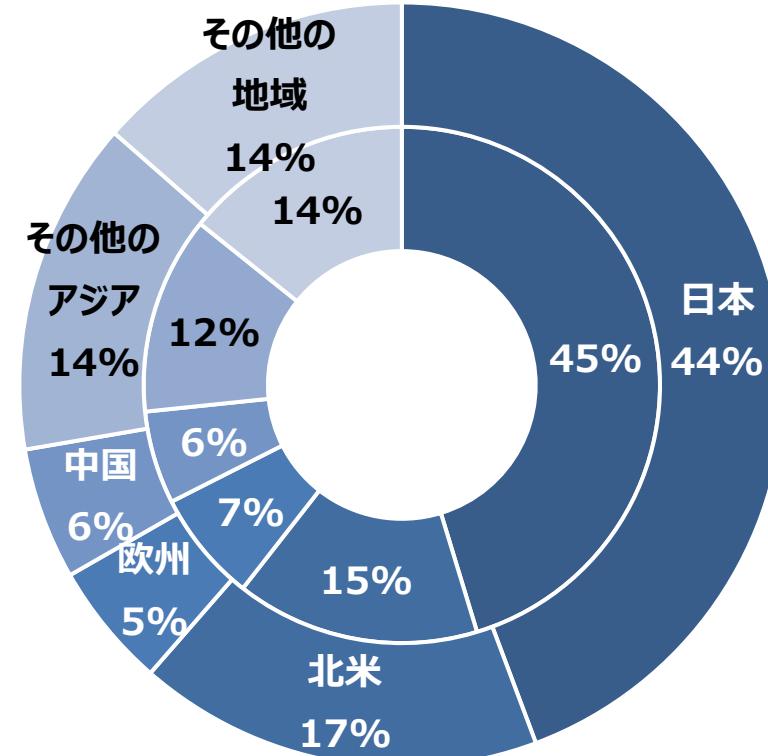
※為替影響を含む

医用機器 / 各種売上高構成比率（4-12月）

機種別



地域別



※円グラフ外側はFY2025実績、内側はFY2024実績を示す

医用機器 / 地域別売上高

単位 億円	FY2024 3Q	FY2025 3Q	前年同期比		概況
			増減額	増減率	
日本	72	79	+6	+9%	<ul style="list-style-type: none"> 新製品効果でX線機種が大きく増加 前年の大口案件の反動減で放射線治療支援システムが減少
海外	90	106	+16	+18%	<ul style="list-style-type: none"> 海外売上高比率は、57.4%と前年同期比2.0pt増加
北米	23	32	+9	+39%	<ul style="list-style-type: none"> 一般撮影システムが新製品効果で伸長
欧州	17	12	▲5	▲30%	<ul style="list-style-type: none"> 東欧での官公庁予算執行の遅延により減少
中国	9	11	+2	+28%	<ul style="list-style-type: none"> 大規模設備更新プロジェクトによる入札数増加で、X線TVシステムが増加
その他の アジア	20	28	+8	+40%	<ul style="list-style-type: none"> 低被ばくかつ高画質な画像が評価されX線TVシステムや一般撮影システムが増加

医用機器 / 地域別売上高前年同期比

- 国内：前年の放射線治療支援システムの大口案件の反動減を、新製品効果により好調なX線機種が補う
- 海外：欧州が市況停滞で大幅減も、日本・北米・中国・東南アジアで増加

為替影響を含む	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%	▲1%	▲3%	▲5%	+3%	▲1%	+1%	▲4%	+9%
北米	▲18%	+11%	▲2%	+0%	▲1%	+37%	▲8%	▲6%	+40%	+14%	▲2%	+14%	+39%
欧州	+16%	▲7%	+41%	+0%	+12%	+11%	▲30%	+3%	▲44%	▲14%	▲63%	+51%	▲30%
中国	+24%	+38%	+7%	▲5%	+15%	▲36%	▲29%	▲36%	▲22%	▲31%	▲3%	▲20%	+28%
その他のアジア	+20%	▲28%	+10%	+27%	+3%	+15%	+47%	+1%	+16%	+19%	▲20%	+28%	+40%

為替影響を除く	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%	▲1%	▲3%	▲5%	+3%	▲1%	+1%	▲4%	+9%
北米	▲23%	+6%	▲6%	▲10%	▲7%	+21%	▲12%	▲8%	+35%	+8%	+5%	+16%	+37%
欧州	+7%	▲18%	+28%	▲11%	+1%	▲1%	▲32%	▲1%	▲42%	▲17%	▲62%	+47%	▲35%
中国	+17%	+32%	+3%	▲17%	+8%	▲43%	▲32%	▲37%	▲24%	▲34%	+5%	▲18%	+27%
その他のアジア	+14%	▲31%	+6%	+16%	▲2%	+5%	+41%	▲0%	+13%	+14%	▲14%	+32%	+40%

産業機器 / 機種別売上高前年同期比

- TMP : 半導体製造装置向けが増加
- 油圧 : 産業車両向けが減少も、建設機械・特装車向けなどが増加
- その他機種 : EV用セラミックス部品製造向け工業炉が減少

為替影響 を含む	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
TMP	▲3%	+0%	▲0%	+15%	+3%	+27%	+7%	+10%	+12%	+14%	+3%	▲2%	+16%
油圧	+10%	+8%	▲4%	+1%	+3%	▲4%	▲4%	▲2%	▲1%	▲3%	▲3%	+6%	+7%
その他	▲2%	+2%	+10%	+11%	+6%	+29%	+42%	+7%	▲16%	+12%	▲19%	▲39%	▲4%

為替影響 を除く	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
TMP	▲7%	▲4%	▲4%	+6%	▲2%	+17%	+5%	+9%	+11%	+10%	+8%	▲3%	+14%
油圧	+9%	+7%	▲6%	▲2%	+2%	▲7%	▲5%	▲3%	▲1%	▲4%	▲1%	+6%	+6%
その他	▲4%	+1%	+8%	+6%	+3%	+22%	+40%	+5%	▲16%	+10%	▲16%	▲38%	▲4%

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を、「産業機器」へ移管。

FY2024およびFY2023の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で、FY2024/FY2023の前期比較においては、前年の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較。

リカーリング比率

- 計測：北米・欧州で部品・サービスとも増加
- 医用：日本で部品・サービスとも増加
- TMP：顧客カバー率向上により台湾を中心に大きく増加

計測	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
リカーリング売上高 前期比	+10%	+3%	▲4%	▲2%	+1%	+0%	+4%	+10%	+7%	+6%	+10%	+6%	+5%
リカーリング比率	39%	35%	37%	34%	36%	41%	38%	40%	35%	38%	42%	38%	41%

医用	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
リカーリング売上高 前期比	▲3%	▲7%	+1%	+0%	▲2%	▲1%	+0%	▲0%	+4%	+1%	+6%	+5%	+5%
リカーリング比率	42%	34%	37%	33%	36%	41%	36%	40%	34%	37%	47%	35%	37%

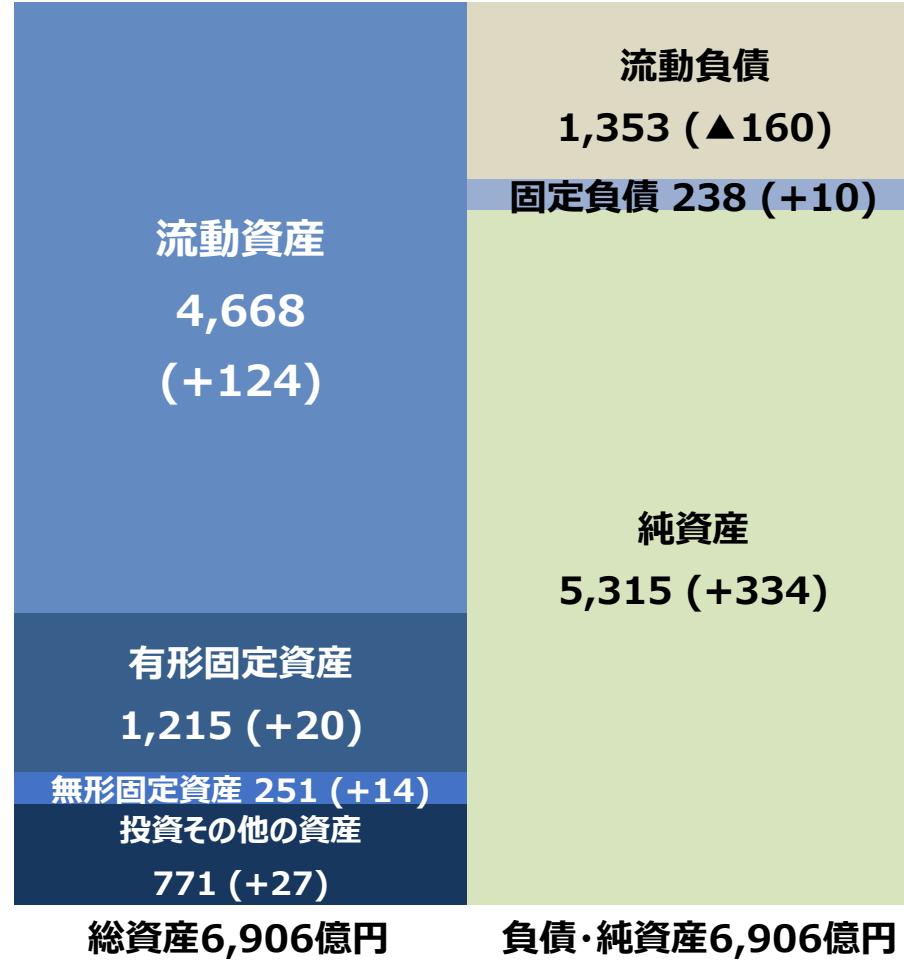
TMP	FY2023					FY2024					FY2025		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
リカーリング売上高 前期比	▲9%	▲8%	+10%	+36%	+6%	+46%	+50%	+34%	+28%	+38%	+24%	+23%	+29%
リカーリング比率	15%	14%	18%	17%	16%	19%	19%	22%	19%	20%	21%	25%	25%

※為替影響を除く

連結財政状態

- 2025年12月末総資産 6,906億円（2025年3月末から+184億円）
- 棚卸資産（製品、仕掛品）の増加に加え現預金や投資有価証券も増加し、流動資産が増加

(億円)
増減は2025年
3月末対比



資産

流動資産 +124億円

- 商品及び製品 +72億円
- 仕掛品 +68億円

負債・純資産

▲160億円

- 支払債務 ▲78億円
- 賞与引当金 ▲69億円

+334億円

- 利益剰余金 +195億円